

# 提出資料

## ※放課後児童クラブ用

項目				自己評価
I	保育の 計画性	1 教育理念 保育方針 の理解	① 児童クラブ(以下クラブ)の教育理念や保育方針を理解している。	3.8
			② クラブの保育方針に共感している。	4.0
			③ キリスト教保育を理解するために努力している。	3.8
			④ クラブ運営指針(厚労省版)を理解するために努力している。	3.6
		2 教育課程 の編成	① クラブのカリキュラムを理解してる。	3.4
			② クラブのカリキュラムをもとに、保育の計画を立てている。	3.3
			③ 児童の状況や社会情勢に応じて見直している。	4.0
		3 指導計画 の作成	① クラブの方針を、指導計画や保育に生かそうとしている。	3.6
			② 指導計画は、教育要領、教育課程、児童の実態をもとに作成している。	3.0
			③ 短期の指導計画は、児童の実態に合わせて自由に変更できるように順応性がある。	3.5
			④ マンネリ化しないよう、常に見直しをしている。	3.3
		4 環境の 構成	① 安全で清潔感のある環境構成をしている。	4.2
			② 指導計画に基づいて、児童が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている。	3.6
			③ 児童が自ら遊びを展開できるような場や空間の構成をしている。	3.8
			④ 遊びに必要な遊具や素材等を、質・量を配慮して用意している。	3.8
			⑤ 児童の発達や生活を見通して、環境構成をしている。	3.6
			⑥ 季節の変化に応じた環境構成をしている	3.8
			⑦ 異年齢の児童が交流できるような環境構成をしている。	3.6
		5 保育と 計画の 評価 反省	① 自分の保育と計画の評価・反省を行っている。	3.2
			② 評価・反省は、視点を定めて行っている。	3.0
③ 評価・反省が、次の保育に生かせるよう行っている。	3.6			
④ 教師がそれぞれの保育状況について情報連携し、検討・評価・反省により自らの保育力向上につなげている。	3.8			